

「北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画」における 工事費増額の中間検証実施について

2026年9月15日
広域系統整備委員会
計画評価及び検証小委員会事務局

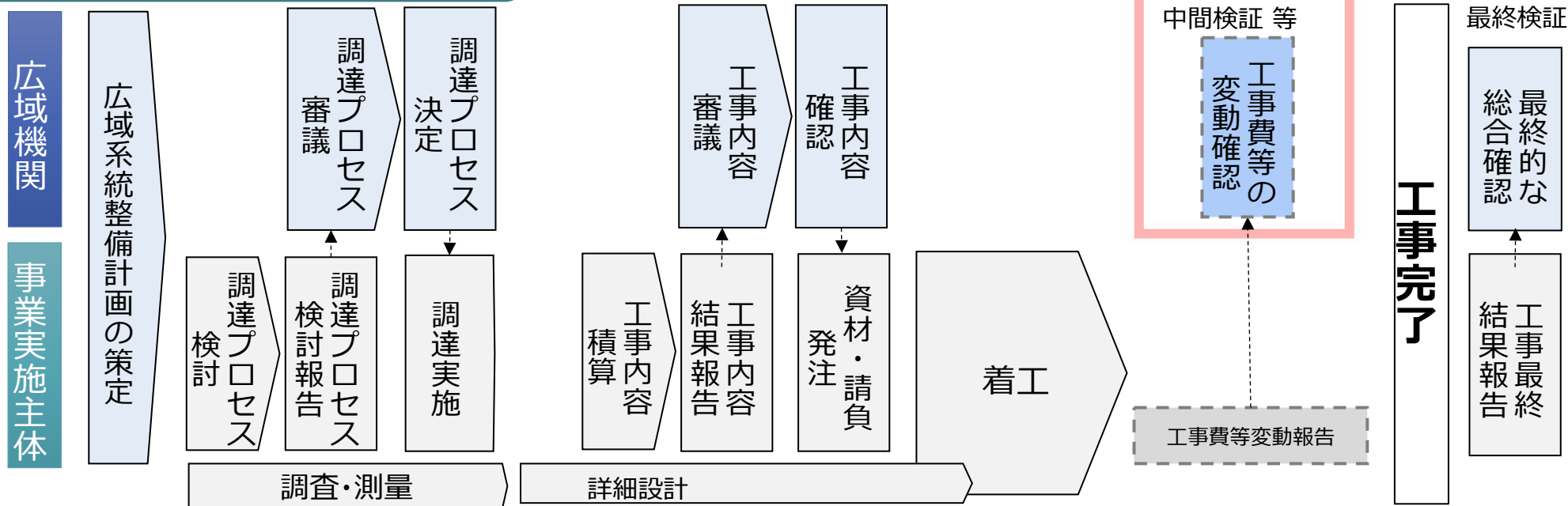
- 北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画のうち、北海道電力ネットワーク株式会社（以下、北海道NW）の工事費については、交直変換設備の物価上昇により工事費が増額している。
- 今般北海道NWから、レベニューキャップ制度の第2規制期間における申請を見据え、「広域系統整備計画のコスト検証等に関するガイドライン」（26年4月15日策定、以下、ガイドライン）に基づく物価上昇の中間検証について実施依頼があった（第104回広域系統整備委員会[9/28]にて検証開始を報告予定。検証結果についても別途広域系統整備委員会へ報告予定）。
- 工事費増額の確認にあたっては、ガイドラインに沿って物価上昇の状況を確認し、その合理性・妥当性を確認したうえで、次回以降の検証小委で、事務局より確認結果を報告し、審議していただく。
- 本日、北海道NWより工事費増額の内容について報告をいただくのでご確認ください。

【ガイドラインでの扱い】

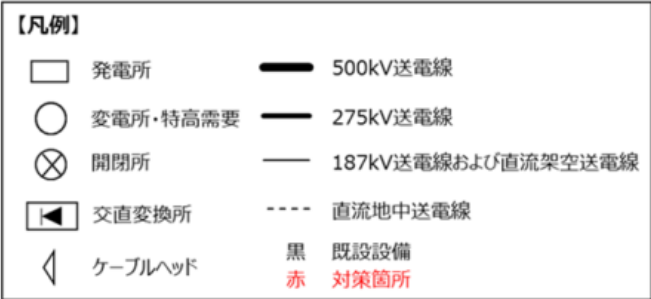
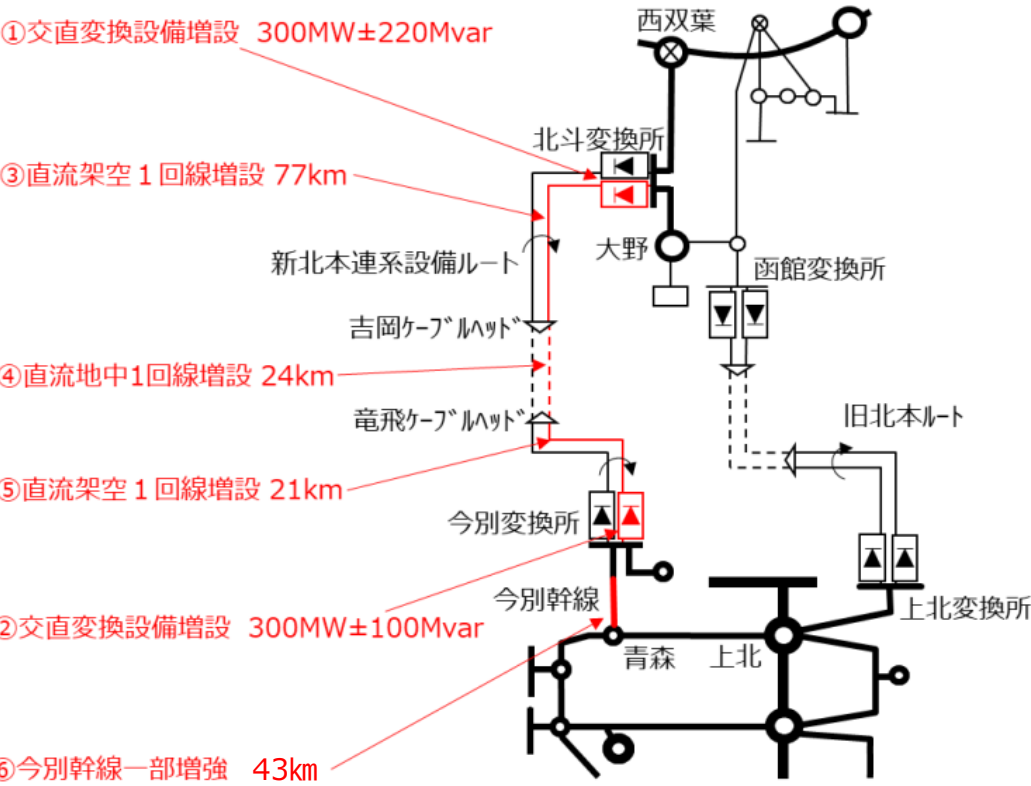
＜物価上昇の確認＞

- ・ 工事費の物価上昇実績の確認は、最終検証で行うことを基本とする。ただし、事業実施主体は、物価上昇実績の検証のために中間検証を行うことを要望できるものとする。事業実施主体は、整備計画の策定後に、物価上昇による調達価格や工事費等の増加が見込まれ検証が必要な時は、建設資材価格指数、労務費指数など、対象費目に適した複数の合理的に説明できる指標を用い、用いた指標、当該指標を用いた根拠、算定期間、算定方法の妥当性について、広域機関に報告を行うものとする。

検証小委 受審フロー（フェーズ2）



■ 北海道本州間の連系設備を30万kW（90万kW➡120万kW）増強する。



- ◆ 費用の概算額：1,014億円
工事費の概算額：479億円
運転維持費の概算額：535億円
- ◆ 工事完了予定時期：2027年度末
- ◆ 事業実施主体：北海道NW、東北NW

個別工事件名	事業実施主体
① 北斗変換所交直変換設備	北海道NW
② 今別変換所交直変換設備	北海道NW
③ 250kV直流架空送電線増設（北海道側）	北海道NW
④ 250kV直流地中送電線増設	北海道NW
⑤ 250kV直流架空送電線増設（本州側）	北海道NW
⑥ 275kV今別幹線一部増強	東北NW
— システム改修	北海道NW 東北NW
— 共通設備	北海道NW